

アンテナ店「コエド市場」

小江戸ブランドPR

木で会
内覧 栃

栃木市中心部に27日オープンする同市初のアンテナショップ「コエド市場」の内覧会が24日現地で開かれ、約130人が見学した。

蔵の街・栃木の新たな観光・交流施設、市街地活性化



27日にオープンする栃木市アンテナショップ「コエド市場」の内覧会。24日午後1時55分、栃木市倭町、藤田賢撮影

の拠点として期待されている。

同市倭町の東武ギフトサロン栃木店跡地に開設。売り場面積は320平方メートル。運営は「道の駅うつのみやろまんちつく村」を手掛けるファーマーズ・フォレストの栃木支店が担当する。同市の特産品である「とちぎ小江戸ブランド」をはじめ、地元農産物、店内で焼き上げた手作りパン、レモン牛乳ソフトクリームなどが提供される。今後は伝統工芸品などの実演販売・体験イベントも開く。

内覧会には地元経済団体や出品者、同市議らが招待され、試食するなどした。鈴木俊美市長はあいさつで「ここに来れば地元のお土産品を含めてすべてが分かる」とアピールしていた。店長を務める川又瑞穂さん(45)は「栃木市の商品をPRして、また来たいと思ってもらえるお店にしたい」と抱負を語った。

(内藤大地)

栃木市特産ずらり1000種超



パンなどが並ぶ店内。とちおとめやレモン牛乳を使ったソフトクリームも販売される(24日、栃木市で)

栃木市は27日、市中心部に、地域の特産品をそろえたアンテナショップ「コエド市場」をオープンさせる。まちの駅としてイベント会場や休憩スペースに活用する計画で、24日に関係者や市民らを対象とした内覧会を開き、農産物や焼きたてパンをふるまった。

市の特産品を集めた施設を作ることで、市中心部への誘客や、観光や産業の振興を図ることが狙い。同市倭町にあり、面積は約320平方メートル。宇都宮市の「道の駅つつのみやろまんちつく村」などを運営しているファーマーズ・フォレストに運営を委託する。トマトやイチゴなどの農

「コエド市場」27日オープン

産物のほか、夕顔ラーメン、巨峰で作ったワインなどを並べる。帆布バッグやお香、市のマスコットキャラクター「とち介」のグッズ、店内で作るパンやソフトクリームなどを含めると、商品の種類は1000を超え、川又瑞穂店長(45)は「こだわりのある商品ばかり。真心を込めて販売していきたい」と意気込んでいた。

市民団体や中高生の活動などに使えるように、机とイス、ホワイトボードも設置している。また、11月にコミュニティFMが開局する予定で、施設内に録音スタジオも設置する計画となっている。

鈴木俊美市長は「ここにくれば栃木市に何があるのか全てわかる。観光客と市民が集うことで、中心街の活性化につながればいい」と話した。